令和 3 月 4 月 26 日

私立大学ご関係者さま

ニューノーマルの大学間交流国際調査（日本国内分）
ご協力依頼

留学生教育学会
大学間交流調査チーム*

交換留学、短期プログラム（サマースクール）、Double Degree、Joint Degree 等、大学間の留学交流は、高等教育グローバル化の重要な要素となってきました。

しかし、コロナ禍によって、各大学そして学生は、海外留学の中断や中止、延期、さらには募集や応募の取りやめを余儀なくされています。国境を越えた人の往来が可能になった時期に向け、そういった大学自体の企画や運営による留学交流の「再開」について、その見通しや手続きは国内外で共有されているのでしょうか。コストやリスクに配慮しつつも、高等教育のグローバル化を止めないため、私どもは幅広い意見の集約に取り組んでおります。

なお本調査については多くのチャンネルを通じ、協力をお願いしております。これまで多くの国公立大学のご意見を頂いたところですが、その反面、日本の高等教育の大きな部分を担う私立の学校さまからのご意見が十分にデータに反映されておりません。そのため、あらためて調査協力について、私立大学さまに重点的に協力をお願いするものです。これまでに協力のお願いが重複をした場合は申し訳ありません。よろしくお願い申し上げます。

【本調査について】

- 米国、豪州、欧州、韓国なども対象とした国際調査の一環として実施されます。国際比較のため、選択式の設問が主体で、回答時間は 10-15 分を要します。
- 学生自らがコストやリスクを負う「学位留学」ではなく、大学等が主体的に取り組むべき「大学間の学生交流」に主な焦点をあてています。
- 現状（ファクト）よりは、主として近い将来に対する見通し（ビジョン）や企画（プラン）を問う設問が中心です。そのため、各大学等での高位の意思決定者やその意図をよくご存じの関係者からの回答が望まれます。
- 記入前に質問項目や回答オプション等をチェックしていただくために「全体マップ」も用意しました。参考になさって下さい。
- 海外研究者や研究機関・ネットワークなどと連携し、ニューノーマルでの大学間交流について、例えば 「オンラインとオンサイトでの等数交換のあり方」など、「世界で受け入れ可能な共通的なルール」を共同提案することを目的とします。
- 感染症収束後の「共通的なルール」を提案していくにあたり、日本の高等教育機関の立場や利益をその提案に反映させることを目指しています。

【調査概要】

- Web 調査（システムとしては REAS**を使用しています）
- 選択式質問、一部自由記述があります。質問全容は事前にチェックしていただけます。
- 言語：国内向け調査は日本語で行います
- 期限：令和 3 年5 月末頃からデータの取りまとめを始めます。5 月中にご記入をお願い出来るとありがたいです。

【調査体制】

海外調査（準備状況）

- 米国：IIE（Institute of International Education 会員校 1300 校）を窓口として、全米 での調査を調整中です。そのほかにも NAFSA（Association of International Educators）の研究部門等とも連携しています。
- 欧州：EAIE（European Association of International Education 会員数 8000 人）の研究部門を窓口として、当初はイタリア、ドイツなどでの調査を調整しています。ドイツ学長会議

（HRK）を通しても高位の意思決定者に質問をおこなっています。

- 韓国：KAIE（Korean Association of International Educators）韓国各大学の「国際部長級」の方々を中心に質問を送付しています。
- 豪州：IEAA（International Education Association of Australia）既存のデータについて参照しながら、近く調査実施について調整中です。

国内調査

- 東京外国語大学、東京都立大学、お茶の水女子大学、信州大学、および大阪大学で留学生教育に携わるメンバーによって構成された「大学間交流調査チーム*」が、上記諸団体・機関に共同調査を呼びかけました。国内調査も担当いたします。

【調査サイト全体マップ】
https://newnormal-jointintlresearch.org/wp-content/uploads/2021/04/995a211e4f6eb39a11cf64d9dc9a2f11-1.pdf

【調査サイト**】
https://reas3.ouj.ac.jp/reas/q/68764

【お問い合わせ先】
joint-intl-research@ciee.osaka-u.ac.jp

【註】
*「大学間教育交流のニューノーマル；各種プログラムの再定義」 課題番号 20KK0052　国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B)) 2020-2023 研究代表者：近藤佐知彦（大阪大学）

** REAS（リアルタイム評価システム）：https://reas3.ouj.ac.jp/cgi-bin/WebObjects/top

（文責：大阪大学・近藤佐知彦）